

平成28年度定期作況報告

6月20日現在
道総研根釧農業試験場

I. 気象概況

5月下旬から6月中旬までの気象概況は次のとおりである。

5月下旬:最高および最低気温が20.1および6.7℃でそれぞれ平年より4.5および1.5℃高かったため、平均気温は13.0℃で平年より3.1℃高かった。降水量は20.0mmで平年より18.3mm少なかった。日照時間は82.2時間で平年より24.0時間多かった。

6月上旬:最高および最低気温が15.8および5.6℃でそれぞれ平年より2.5および2.3℃低かったため、平均気温は10.8℃で平年より1.5℃低かった。降水量は98.0mmで平年より80.1mm多かった。日照時間は55.7時間で平年並であった。

6月中旬:最高および最低気温が12.4および7.2℃でそれぞれ平年より5.3および2.3℃低かったため、平均気温は9.5℃で平年より3.6℃低かった。降水量は130.0mmで平年より87.6mm多かった。日照時間は7.9時間で平年より20.6時間少なかった。

この1ヶ月間は5月下旬の平均気温は極めて高かったこと、6月上中旬の平均気温が極めて低く、降水量が極めて多かったことが特徴的であったが、総じて気温は平年並、降水量は極めて多く、日照時間は平年並に推移した。

気象表

項目	5 月 下 旬			6 月 上 旬			6 月 中 旬			平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	13.0	9.9	3.1	10.8	12.3	△1.5	9.5	13.1	△3.6	11.1	11.8	△0.7
最高気温(℃)	20.1	15.6	4.5	15.8	18.3	△2.5	12.4	17.7	△5.3	16.1	17.2	△1.1
最低気温(℃)	6.7	5.2	1.5	5.6	7.9	△2.3	7.2	9.5	△2.3	6.5	7.5	△1.0
降水量(mm)	20.0	38.3	△18.3	98.0	17.9	80.1	130.0	42.4	87.6	248.0	98.6	149.4
降水日数(日)	5	3.6	1.4	7	2.8	4.2	7	4.0	3.0	19	10.0	9.0
日照時間(時間)	82.2	58.2	24.0	55.7	53.8	1.9	7.9	28.5	△20.6	145.8	140.5	5.3

注1) 平年値は前10カ年平均値

2) 日照時間の平年値は、アメダス観測値より算出

3) △は負の値を示す

Ⅱ. 当 場 作 況

1. とうもろこし

作況：やや不良

事 由

出芽期は平年より8日早かった。6月上旬に軽い降霜があり、葉の一部が変色する被害が発生したが、その程度は軽微であった。6月上中旬の平均気温が極めて低かったことなどから、出芽期が早かったわりには生育は進んでいない。6月20日現在の草丈は平年より4～5cm低く、葉数は平年並である。

これらのことから、目下の作況はやや不良と判断される。

品種名	出芽期 (月日)			草丈 (cm)			出葉数 (枚)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
たちぴりか	5.29	6.6	△8	17	22	△5	4.1	4	0.1
(ぱぴりか)	5.28	6.5	△8	18	22	△4	3.7	4	△0.3

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 当場のとうもろこし作況調査は、平成22年度より供試品種を「たちぴりか」に変更している。

3) 「たちぴりか」は、一部の作況調査項目について過去のデータ蓄積が不十分であるため、参考として「ぱぴりか」における調査結果を下段に記載する。

4) 平年値は、「たちぴりか」では前6カ年のうち最凶年の平成23年を除く5カ年の平均値、「ぱぴりか」では前7カ年のうち最豊年の平成22年および最凶年の平成21年を除く5カ年の平均値である。

5) △は減を表す。

2. 牧草
 (1) 採草型
 チモシー単播

作況:1番草 並

事由

5月下旬の平均気温が極めて高く、日照時間が長かったことにより生育が進んだが、6月上中旬の平均気温が極めて低く、降水量が極めて多かったことからその後生育は停滞した。

6月20日の草丈は、冬損程度が平年より小さかった2年目草地では平年値と比較して9cm高く、雪腐大粒菌核病の影響で冬損程度が平年より大きかった3年目草地では平年値と比較して12cm低かったが平均すると平年並であった。

なお、本年の1番草は6月20日現在、出穂期に達していなかった。そのため刈取りはまだ行っていない。

以上のことから、1番草の作況は平年並と判断される。

草地	草種	6月20日草丈(cm)			1番草 出穂期(月.日)			1番草 刈取日(月.日)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ノサップ」2年目	TY単播	92	83	9	—	6.21	—	—	6.23	—
「ノサップ」3年目	TY単播	93	105	△12	—	6.23	—	—	6.25	—

注1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平年値：平成21年～27年のうち、最凶年(2年目草地：平成21年、3年目草地：平成22年)と最豊年(2年目草地：平成22年、3年目草地：平成27年)を除く5ヶ年平均値。

3) △は減を示す。

(2) 放牧型

オーチャードグラス単播

作況：1 番草 良

作況：2 番草 不良

事 由

5月下旬の平均気温が極めて高く、日照時間が長かったことにより生育が進んだが、6月上旬の平均気温が極めて低く、降水量が極めて多かったことからその後生育は停滞した。

1番草の草丈は、冬損程度が「オカミドリ」の平年より小さかった2年目草地では「オカミドリ」の平年値と比較して13cm高く、雪腐大粒菌核病の発生が認められた3年目草地では「オカミドリ」の平年値と比較して6cm低かったが平均すると平年並であった。乾物収量は「オカミドリ」の平年値と比較して2年目草地で52kg/10a多く、3年目草地で12kg/10a少なかったが平均すると平年より多かった。

2番草の6月20日現在の草丈は「オカミドリ」の平年値と比較して2年目草地で13cm低く、3年目草地で19cm低かった。

以上のことから、現時点での作況は1番草が良、2番草が不良と判断される。

草地	草種	1 番 草						2 番 草		
		刈取月日			草丈(cm)			6月20日草丈(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	6.1	—	—	57	—	—	35	—	—
「ハルジマン」3年目	OG単播	6.1	—	—	30	—	—	26	—	—
「オカミドリ」2年目	OG単播	—	6.1	—	—	44	—	—	48	—
「オカミドリ」3年目	OG単播	—	6.1	—	—	36	—	—	45	—

草地	草種	1 番 草					
		生草収量(kg/10a)			乾物収量(kg/10a)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
「ハルジマン」2年目	OG単播	1228	—	—	198	—	—
「ハルジマン」3年目	OG単播	515	—	—	88	—	—
「オカミドリ」2年目	OG単播	—	781	—	—	146	—
「オカミドリ」3年目	OG単播	—	523	—	—	101	—

注 1) 根釧農試定期作況圃場における調査結果に基づき、調査地点における平年との比較を示したもので、根釧地域全体の作況を表現しているものではない。

2) 平成 25 年播種から供試品種を「オカミドリ」から「ハルジマン」へ変更した。「ハルジマン」の平年値はないため、参考として下段に以前供試していた「オカミドリ」の平年値（平成 18 年～24 年のうち、最凶年（2 年目草地、3 年目草地とも平成 21 年）と最豊年（2 年目草地、3 年目草地とも平成 22 年）を除く 5 ヶ年平均値）を掲載した。